

セルフモニタリング報告書（令和7年度分）

令和 8 年 4 月 30 日

施設名：公設地方卸売市場 水産物部
指定管理者名：マルトマ苫小牧卸売株式会社
所管課名：産業経済部 農業水産振興課

モニタリング項目		指定管理者コメント		自己評価				
1 事業計画の達成度								
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	適正に実施した。	A	B	C	D	E		
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。		—	—	—	—	—		
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。	これまでの経験を活かし、市場関係者が利用しやすい市場運営に努めた結果、水産物部として過去最高の取扱高を記録することができた。また、新たな取組として、千葉で開催したプロ野球協賛試合でほっき料理を提供するなど、道外においても積極的に市場のPRに努めた。	A	B	C	D	E		
自主事業は計画どおり行われたか。	市場親子見学会を2回実施し、東京とまこまい会への参加やプロ野球冠協賛試合への出展をするなど、市場や苫小牧の水産物のPRに努めた。	A	B	C	D	E		
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	関係団体と漁港区の駐車場清掃等を行った。また、関係団体と連携し、道内外での苫小牧産水産物のPRに努めた。	A	B	C	D	E		
2. 利用者の満足度								
利用者の満足が得られているか。	対応できていない部分があるが、概ね良好。	A	B	C	D	E		

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	施設利用者からガラスにひび割れがあると報告があった際には、速やかにガラス交換を実施するなど、日々利用者からの意見・要望の把握および対応に努め、適切に対応している。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	適切に対応している。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	節電、節水等、自社で出来る範囲で職員に周知している。 また、社員向けにSDG s の研修を実施し、スキルアップに努めている。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	複数の業者と折衝し最小となるよう努めた。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。		A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	積極的に実施した。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	十分配慮しているが、突発的な施設内破損等が見られる。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正である。	適			不適	

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	適切に処理している。	適		不適		
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	適切に管理している。	適		不適		
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	適切に処理している。	適		不適		
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	適切に実行している。	適		不適		
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	適切に管理している。	適		不適		
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	適切に管理している。	適		不適		
5 地域貢献						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	地元業者を優先している。	A	B	C	D	E

- A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

職員向けの研修については、転倒・腰痛災害予防対策研修セミナー（社員全員参加）を実施したほか、食品衛生やSDG s 対策など社員のスキルアップ向上の為の研修を行いました。

実施事業としては、第4回苫小牧産お魚料理コンテストを実施し、年度末には過去4回分の優秀作品レシピ集を作成・配布も行いました。ほっきまつりでは約38,000人に来場いただきました。その他の販促活動としては、冠協賛試合（苫小牧スペシャルナイター）ZOZOマリンスタジアムでほっきカレーを販売しました。また、東京とまこまい会に参加した他、札幌駅のどさんこプラザで開催された「いぶりフェア」に出展する等、出来る範囲で苫小牧をアピールできたと思います。

来年度の取組としては、一昨年開催した営業基本セミナー（継続版）を9月に行うほか、HP、Facebook、X、インスタにて苫小牧前浜状況、苫小牧の魅力を発信してPRに繋げていきます。衛生管理については今後も継続して行いますが、施設も老朽化の為、修繕費用が毎年度増加しており、出来る限りの経費削減に努めます。今後は再整備計画策定に協力するとともに、安心・安全な水産市場として機能していきたいと考えます。